

- 明治22年(1889) ● 市制・町村制施行、上野町、島ヶ原村などが誕生
- 明治23年(1890) ● 関西鉄道の草津～柘植間開通、柘植駅開業、引き続き柘植～河原田間開通
- 明治30年(1897) ● 関西鉄道の柘植～加茂間開通、佐那具・上野・島ヶ原駅開業
- 明治32年(1899) ● 三重県第三尋常中学校(現上野高等学校)設置①
- 明治35年(1902) ● 廣澤徳三郎、東京から組紐業を伊賀に導入
- 明治37年(1904) ● 巖倉水電(株)が開業し上野町に配電
- 明治38年(1905) ● 旧崇廣堂の一部が図書館となる
- 大正5年(1916) ● 伊賀軌道(株)、上野駅連絡所(伊賀上野)～上野町(上野市)間開通
- 大正7年(1918) ● 上野町・三田村・島ヶ原村などで米騒動が発生
- 大正11年(1922) ● 伊賀鉄道(株)、上野町(上野市)～名張(西名張)間開通②
- 伊賀水平社設立
- 昭和5年(1930) ● 参宮急行電鉄が開通
- 昭和10年(1935) ● 伊賀文化産業城(白鳳城)が竣工
- 全国博覧会を上野公園で開催
- 昭和11年(1936) ● 上野町上水道敷設
- 昭和16年(1941) ● 七町村が合併し上野市が誕生
- 昭和17年(1942) ● 俳聖殿が竣工
- 昭和20年(1945) ● 緑ヶ丘本町・中町一帯に海軍航空隊の飛行場が建設
- 昭和22年(1947) ● 第一回芭蕉祭開催
- 昭和26年(1951) ● 昭和天皇が上野、府中・柘植地区を巡幸
- 昭和27年(1952) ● 世界こども博覧会を上野公園で開催
- 昭和28年(1953) ● 東近畿大水害及び台風13号により伊賀全域に大きな被害(二八災害)③
- 昭和30年(1955) ● 各地で市町村合併が進み、大山田村、青山町が誕生
- 昭和34年(1959) ● 芭蕉翁記念館が竣工
- 伊勢湾台風により甚大な被害を受ける
- 柘植町と春日村の合併により伊賀町が誕生
- 昭和39年(1964) ● 忍者屋敷開設
- 上野市庁舎(旧伊賀市本庁舎)完成④
- 昭和40年(1965) ● 名阪国道開通
- 昭和42年(1967) ● 阿山町が誕生
- 昭和45年(1970) ● 伊賀地区広域市町村圏事務組合、上野市ほか4ヶ町村環境衛生組合設立
- 昭和46年(1971) ● 伊賀北部消防組合・南部消防組合が設立
- 昭和50年(1975) ● 第三十回国民体育大会サッカー競技を上野市で開催
- 昭和53年(1978) ● 伊賀市立上野総合市民病院が四十九町へ移転開設
- 昭和57年(1982) ● 伊賀焼が国の伝統的工芸品に指定
- 平成2年(1990) ● 伊賀上野ケーブルテレビ(株)発足
- 平成6年(1994) ● 芭蕉翁生誕350年記念事業実施
- 平成7年(1995) ● 阿山町に農業組合法人「伊賀の里モクモク手づくりファーム」が設立
- 第1回伊賀上野NINJAフェスタ開催
- 平成9年(1997) ● (財)上野市(現伊賀市)文化都市協会設立
- 上野新都市「ゆめぼりす伊賀」街びらき
- 上野市(現伊賀市)農業公園「市民ふれあい農園」開園

明治32年
(1899)



三重県第三尋常中学校(現上野高等学校)設置①

大正11年
(1922)

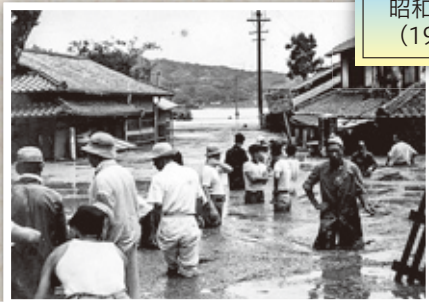


伊賀鉄道(株)、
上野町(上野市)～名張(西名張)間開通②

忍者市 時代絵巻

忍の里の物語

昭和28年
(1953)



東近畿大水害及び台風13号により
伊賀全域が大きな被害を受ける(二八災害)③

昭和39年
(1964)



上野市庁舎(旧伊賀市本庁舎)完成④



平成14年
(2002)

サッカーワールドカップで
南アフリカ共和国チームのプレキャンプ地に決定⑤



平成16年
(2004)

上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、
大山田村及び青山町が合併し伊賀市が誕生⑥

めまぐるしく変化する時代を、
市民とともに歩んできた伊賀市。
これからの忍者市としての未来に向け、
これまでの発展を振り返ってみましょう。

平成26年
(2014)



上野総合市民病院敷地内にヘリポートが完成⑦

平成31年
(2019)



新庁舎での業務開始⑧

- 平成11年(1999) ● 伊賀介護保険広域連合発足
- 伊賀の国大山田温泉「さるびの」竣工
- 国会等移転審議会により「三重・畿央地域」が首都機能移転先準候補地として答申
- 平成12年(2000) ● 伊賀まちかど博物館開館
- 平成13年(2001) ● 伊賀地区市町村合併問題協議会(任意協議会)設立
- 平成14年(2002) ● サッカーワールドカップで南アフリカ共和国チームのプレキャンプ地に決定⑤
- 平成15年(2003) ● 風力発電施設青山高原ウインドファーム稼働
- 伊賀地区市町村合併協議会(法定協議会)設置
- 平成16年(2004) ● 上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村及び青山町が合併し伊賀市が誕生⑥
- 自治基本条例制定
- 平成17年(2005) ● 島ヶ原温泉「やぶっちゃんの湯」が開業
- 伊賀市商工会が誕生
- ササユリ・アカマツ・キジをそれぞれ市の花・木・鳥に制定
- 平成18年(2006) ● 伊賀上野城が日本100名城に選ばれる
- 平成19年(2007) ● 上野総合市民病院に伊賀市健診センターを開設
- 伊賀市の忍者キャラクターの名前を「にん太」「しのぶ」に決定
- 平成20年(2008) ● ふるさと納税制度を開始
- 平成21年(2009) ● ゆめが丘浄水場等専用施設が完成し、給水を開始
- 平成22年(2010) ● 俳聖殿が国の重要文化財に指定
- 平成23年(2011) ● 藤堂高虎伊賀上野城築城400年祭、高虎サミットin伊賀が開催
- 平成24年(2012) ● 広域農道「伊賀コリドールロード」が完成
- 上野市駅前に「ハイドピア伊賀」が竣工
- 平成25年(2013) ● 台風18号により国道163号、165号、422号の一部が崩壊するなど、各地で大きな被害
- ご当地キャラクター「いが☆グリオ」を伊賀市の観光大使に任命
- 平成26年(2014) ● 着地型観光「伊賀ぶらり体験博覧会いがぶら」を初めて実施
- 平成27年(2015) ● 上野総合市民病院敷地内にヘリポートが完成⑦
- 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会公認の伊賀流忍者キャラクター「伊賀嵐マイ」が誕生
- 平成28年(2016) ● 「上野天神祭のダンジリ行事」のユネスコ無形文化遺産登録決定
- 伊賀山城南定住自立圏形成
- 平成29年(2017) ● 「忍者市宣言」を実施
- 日本イコモス国内委員会が「伊賀上野城下町の文化的景観」を日本の20世紀遺産20選に選定
- 伊賀鉄道公有民営化
- 平成30年(2018) ● 国道422号三田坂バイパスが全線開通
- 伊賀鉄道(株)伊賀線「四十九駅」開業
- 「伊賀市若者会議」発足
- 平成31年(2019) ● 新庁舎での業務開始⑧